

歴史的景観を活かした商店街の リニューアルとチャレンジショップの運営

臼杵商工会議所・臼杵市中央通り
商店街振興組合
(大分県臼杵市)

臼杵市中央通り商店街(通称「八町大路」)の位置



臼杵市中央通り商店街の概要及び事業概要

- 大分県臼杵市は、国宝臼杵磨崖仏（まがいぶつ）を代表とする石仏の町として有名で、中心地には武家屋敷や寺院、城下町が広がる、由緒ある歴史の街。
- 中央通り商店街はそんな町の中心にあって、かつて春日局が住んだとされる二王座通りと平行した通りに位置する。
- そんな歴史ある街も、年々減り続ける人口とモータリゼーション化による商業機能の衰退は避けられなかった。

事業概要（つづき）

- 街の活性化事業として取り組んだテーマが、歴史の街と一体化した景観作り。
- 商店街のアーケードを全て撤去し、電柱を地中に埋め込み、アスファルトを石畳に替えた。
- 店の看板や外観を歴史的風情のあるものに替えた。
- 臼杵商工会議所が中心となって空き店舗対策事業を実施。空き店舗に赴きのある店を次々とオープンさせた。
- 装い新たな商店街を、より親しまれるようにと愛称を公募し、**900**通余りの応募から「八町大路」が誕生。

臼杵市中央通り商店街振興組合 理事長 高村 晃正 氏へのインタビュー

Q. 商店街改装の経緯について

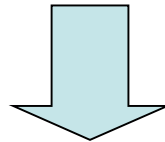
- 街路整備、店舗改装は県の補助金で実施。
- 当初はアーケードのドーム化に向けて総会決議をしていたが、その後組合の同意を得られず断念。
- アーケードの撤去、店舗改装に着手。

Q. 街づくりのコンセプトは

- 結果として観光客を呼び込むことになって、あくまでも地域住民への貢献が目標。

Q. 改装後の反響、効果は

- お客様からは、アーケードがなくなって明るくなったと好評。
- 青年部は、方向性が明確になり活動が活発になった。



毎月第1土曜日に青年部によるイベント
「幟（のぼり）市」を開催

臼杵商工会議所 専務理事 北山 信夫 氏へのインタビュー

- Q. 空き店舗対策事業の実施内容について
- ・ 空き店舗対策に国・県の補助金を活用

- ①空き店舗への出店者に対する支援
 - ・ 家賃補助
 - ・ 店舗改装費（内装費）の補助
- ②イベント事業
- ③調査事業

Q. 店舗選びと出店条件について

<店舗選定>

- 不足業種（土産店、ギャラリー等）を優先
- 11店舗応募のうち、7店舗を選定

<出店条件>

- 商店街振興組合への加入が条件

Q. その後の支援・指導について

出店者を「ひよこ」の段階から「にわとり」の段階に育てる。

- ・ **16年度も市の支援で家賃補助**
- ・ 通行量調査
- ・ 出店者意識調査
- ・ 巡回指導

チャレンジショップ出店者インタビュー まちや八町（臼杵特産物、郷土料理） 店主 三浦 正行 氏

- 多くの観光客、特に高齢者、女性の小グループの方々の来店が目立つ。
- この商店街に従来、土産品店、飲食店が少なかったので出店を決めた。
- 今後は、味にもっと磨きをかけて、地域の方々に提供して行きたい。

チャレンジショップ出店者インタビュー アトリエ鑰屋（ギャラリー、アート関連商品） 店主 玉田 功希 氏

- 見学者が多いが、喫茶も始めたことで長く滞留するお客様が増えた。
- 父親（画家）のギャラリーを造りたいと考えていたので、この制度に応募。
- 街のいこいの場として、今後も長く定着させて行きたい。

関連URL

- 臼杵商工会議所
(<http://www5.ocn.ne.jp/~usukicci/>)
- 臼杵市中央通り商店街（八町大路）
(<http://www.d-b.ne.jp/katsumi/d-b/hattyo/hatyo.htm>)